

ICT を活用した授業のイメージをつくっていきましょう

教科 ・ 領域等	生活科
授業タイトル・単元名等	みんな大きくなったよね
対 象 学 年	2 年
実 施 場 所	教室
I C T 活用授業の内容	授業のねらい 生まれてから今までの成長を調べ、確認することによって、自立した自分を実感的にとらえ、これからの成長を高めていこうとする意欲を持ち、成長を支えてくれた人に感謝の気持ちを持つ。また、友だちの成長の記録にも興味を持って、お互いの成長を喜び合う。 授業の流れ 家の人から聞かせてもらった、生まれた頃や入学までの様子や、家庭で集めてもらった写真、使っていたおもちゃなどをもとにして、自分の成長記録をまとめる。できるようになったことや、将来の夢、家族や周りの人に対する感謝の気持ちなど、これまでに経験した様々なことを振り返り、次の自分へつなげていく学習である。その時に自分から関心を持って調べられるように、家庭に事前に連絡をし、幼い頃に使ったものとそれにまつわるエピソードなどの具体的な手がかりを用意しておいてもらう。 しかし、子どもによって成長の過程や家庭の環境はそれぞれ異なるので、十分に配慮して、一人ひとりが自信を持てるような学習にしていけることが求められる。 そして、自分の成長を振り返る活動から自分の成長を実感し、その様子を工夫して表現していく。デジタルカメラで撮った写真を相手が見やすいように配置することや、効果的に文章と絵を組み合わせていく活動を通して、相手に分かりやすく伝えることを学習する。 出来あがった成長記録を実物投影機を使ってスクリーンに投影し、一人ずつ発表を行う。写真なども入っているので、聞き手の子どもも友だちの成長の記録に興味を持って取り組めると考える。 I C T 活用のねらいと授業での位置づけ 授業での位置づけとしては、自分の成長をみんなに知らせ、友達の成長にも興味を持ち、お互いの成長を喜び合う、というねらいの達成のために、ICT を活用する。出来あがった成長記録の発表の際に実物投影機を用いることで、写真や絵を見ながら発表を聞くことができ、子どもたちの関心を高められると考える。
活用する ICT メディア	実物投影機、スクリーン
活用するコンテンツ等	なし